



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■塗りつぶしの日は休館です。

令和7年



『子どもの一生を決める花粉症対策』 村川哲也/小学館クリエイティブ/493.9 ムラ

花粉症は根治が期待できる治療法があることをご存じですか？ 保険適用内・外あわせて様々な治療法がある中で「これが正解」といえる、子どもと親に負担をかけないベストな予防策と治療法を紹介します。

今年も花粉の季節がやってきました。症状が出始めたら早めの対策を立てましょう。



『知能とはなにか』

田口善弘/講談社/007.1 ヲ

AI は人類を上回る知能を持つか。そしてシンギュラリティは起きるのか。「知能」を再定義し、AI と「ヒトの知能」との共通点と相違点を整理した上で、シンギュラリティに達するという仮説の妥当性を論じる。

『不安を味方にして生きる』

清水研/NHK 出版/146.8 ヲ

がん患者 4000 人以上と対話した精神科医が、不安に支配されるのではなく不安とうまく付き合う方法を、患者や自身の体験をもとに伝える。限られた人生を豊かにするレッスン。『NHK 出版 本がひらく』連載を再編集。

『書庫をあるく』

南陀楼綾繁/皓星社/010.2 ヲ

個人コレクションからハンセン病療養所の蔵書まで、普段は一般利用者が入ることができない閉架書庫に足を踏み入れ、書庫内を知り尽くす館員に資料の管理や活用について話を聞く。『日本の古本屋』メールマガジン連載を書籍化。

『「嘘をつく」とはどういうことか』

池田喬/筑摩書房/158 ヲ

嘘をつくとは何をすることか。嘘をつくことはどう悪いのか。それでもなぜ嘘をつくのか。哲学の考えを活用して嘘について考え、笑い、社会、友人、尊重、政治、成長、自分らしさなどまでも相互関連のうちで話題にあげる。

『まちづくりゲームカタログ』

安藤哲也/学芸出版社/318 ヲ

社会課題をテーマとしているゲームを、自治体研修などの現場で活用できるよう 22 作品を厳選し、あそび方や活用のポイントを解説。まちづくりゲームを制作する手順や配慮すべきポイントなど、ゲームのつくり方も紹介する。

『yula のカラーブック』

yula/KADOKAWA/594.2 ヲ

刺繍で表現する多彩な色の世界。植物、動物、フルーツ、スイーツ…。暮らしのなかで出会うお気に入りモチーフに、14 色の刺繍糸を用いてパネル、巾着、手提げ、クッションなどに仕立てた 48 作品を紹介します。

『絵で食べていきたい!』

白ふくろう舎/弘文堂/726.5 ヲ

経験がなくても、コネがなくても、何歳からでもイラストレーターになれる! イラストで収入を得たいけれど一歩を踏み出せない、もっと仕事の幅を広げたい人に向けて行動と継続の秘訣を紹介する。『CORECOLOR』連載に加筆修正。

『あなただけの物語のために』

あさのあつこ/筑摩書房/901.37 ヲ 青少年

自分の言葉、自分の思考、自分の表現こそが最強の自己防衛になる。世の中にあふれている誰かが描いた紛い物の物語に惑わされないよう、「書いたり」「読んだり」を通して、自分の内にある物語を見つめなおす方法を提案する。

『そんなときは書店にどうぞ』

瀬尾まいこ/水鈴社/914.6 ヲ

出版業界の慣習に困惑しながら書店を巡り、書店員の手作り POP に感動し…。映画「夜明けのすべて」の秘蔵エピソードも満載のエッセイ集。水鈴社公式 note 連載を書籍化。「幸福な食卓」のその後を描いた短編小説も収録。

『図書館を学問する』

佐藤翔/青弓社/010.4 ヲ

なぜ図書館は月曜日に閉まっているのか。子どもと一緒に行きたいのはどんな図書館か…。図書館で働く人、日々利用している人が普段は気にしない疑問を、エビデンスに基づいて考える視点や、思考する道筋をレクチャーする。

『絵画でスッと頭に入る世界史』

祝田秀全[監修]/昭文社/209 ヲ

フランス七月革命で民衆を扇動する女神を描いた「民衆を導く自由の女神」など、歴史的トピックをテーマにした絵画を通して世界史を概観。ギリシア文明から第二次世界大戦までを関連する絵画とともに振り返る。

『砂時計の科学』

田口善弘/講談社/428.4 ヲ 文庫

砂時計の不思議をめぐる探究は、やがて雪崩や縞模様、果ては満員電車や交通渋滞のメカニズムの解明へと至り着き…。異なるものたちのあいだに共通の法則を見だし、研究の最前線と日常生活を往還する物理学の面白さを伝える。

『土と生命の 46 億年史』

藤井一至/講談社/613.5 ヲ

現代の科学技術をもってしても作れない「生命」と「土」。生命の誕生から動植物の進化と絶滅、人類の繁栄、文明の栄枯盛衰にまで大きく関わってきた土の進化を、46 億年の地球史と生物進化の壮大なストーリーとともに描く。

『読めば分かるは当たり前?』

犬塚美輪/筑摩書房/801 ヲ

読める人の頭の中には読解力の地図がある。人間が「読んで理解する」とはということかを、心理学の研究成果を通して解説し、どうすればよりよく読むことができるのかを考える。

『コッペリア』

加納朋子/東京創元社/F ヲ 文庫

人形作家邸の敷地内に捨てられていた人形に心を奪われた了。だが人形は、その場で人形作家によって壊されてしまう。諦めきれない了の前に、人形に生き写しの女優・聖が現れ…。人形に憑かれた人々をめぐるミステリ。

『生きるための読書』

津野海太郎/新潮社/019 ヲ

老化につれて狭くなった私の世界の外で、新しく魅力的な知的世界が着実に築かれつつあるらしい…。伊藤亜紗、斎藤幸平など、若い世代の知性にふれ、学んでゆく喜びをいきいきと綴る。『熱風』連載を改題して単行本化。

『リーダーの言葉力』

文藝春秋[編]/文藝春秋/281 ヲ

田部井淳子「自分がやりたいと思うことは、やろうとさえすれば何でもできる」、中村哲「病気はあとで治せる。ともかくいまは生きておれ」…。人を奮い立たせる、リーダーたちの研ぎ澄まされた言葉を紹介する。

『〈逆上がり〉ができない人々』

横道誠/明石書店/493.7 ヲ

ボタンを留める、文字を書く。そんな「当たり前」ができない現実。「知られざる発達障害」である発達性協調運動症の当事者が抱える生きづらさを内側から共有し、社会が無意識に課す「できて当然」の圧力を問いなおす。

『家庭菜園の超裏ワザ』

和田義弥/家の光協会/626.97 ヲ

ミニトマトのエレベーター栽培、タマネギの踏みつけ栽培…。家庭菜園愛好家の著者が見聞きした、普通とはちょっと違う栽培法や常識にとらわれない野菜づくりを実際に試し、検証してその方法を紹介。『やさい畑』連載を書籍化。

『俺の文章修行』

町田康/幻冬舎/816 ヲ

留学生らへの指導に頭を悩ませる日本語教師が、流暢な日本語を話す外国人 9 名に根掘り葉掘り尋ねると、日本人が気付かない日本語の輪郭が鮮やかになった。日本語に出合い直す中で、言葉を学ぶことの本質に迫る。

『見えなくても王手』

佐川光晴/実業之日本社/F ヲ

盲学校に通う小学 4 年生の及川正彦は、新任の先生から将棋を教わり、その面白さにすっぴりのめりこむ。将棋を指す喜びを知り、それぞれに成長を遂げてゆく小学生たちとその家族、教員たちの群像劇。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ